

## 深い日本のマインドフルネスへ

\*\*\*\*\*

### === 目次 ===

<b>第1章 人格的自己の哲学と実践</b>	.....	<b>1</b>
第1節 自己の实在論あつての実践論	..... (1)	
第2節 創造的世界の創造的要素として生きる	..... (3)	
<b>第2章 西洋にも深い人間哲学</b>	.....	<b>7</b>
第1節 エックハルト	..... (7)	
第2節 ヴィルギス・イエーガー	..... (8)	
第3節 V・E・フランクフル	..... (9)	
第4節 近現代の西洋哲学	..... (9)	
<b>第3章 日本文化に流れる人間哲学</b>	.....	<b>11</b>
第1節 誤解されている仏教、禅という西田幾多郎	..... (11)	
第2節 日本文化に流れる東洋哲学	..... (12)	
第3節 宮沢賢治『どんぐりと山猫』	..... (14)	
<b>第4章 集団の立場で行為する叡智的自己のエゴイズム</b>	..... (17)	
第1節 専門家のエゴイズム	..... (17)	
第2節 行為的直観	..... (18)	
第3節 叡智的自己	..... (20)	
第4節 種の哲学	..... (22)	
<b>第5章 現代を足場にした現場で生きる実践をめざして</b>	.....	<b>24</b>
第1節 深い人間哲学も実践も失われた	..... (24)	
第2節 仏教哲学の変遷の検討	..... (25)	
第3節 西洋のマインドフルネスの検討	..... (30)	
第4節 西田幾多郎の薦める実践、日本人の至誠	..... (32)	

図：マインドフルネスの展開—— (35)

参考文献 ————— (36)